


# CASBEE<sup>®</sup> 横浜 [戸建] | 評価結果 | 4-035

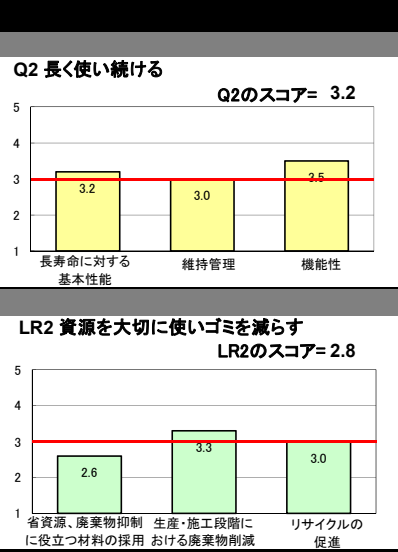
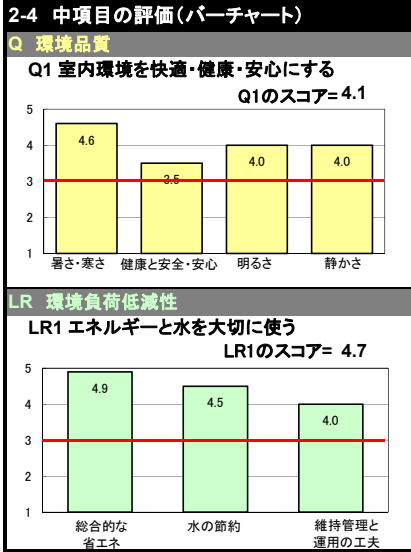
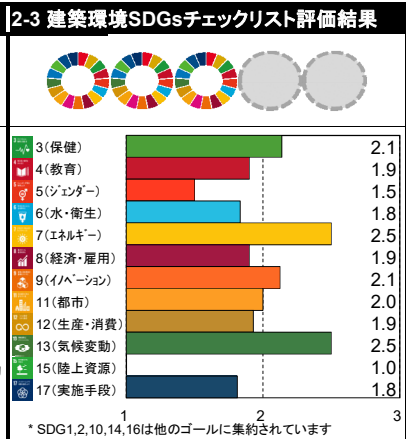
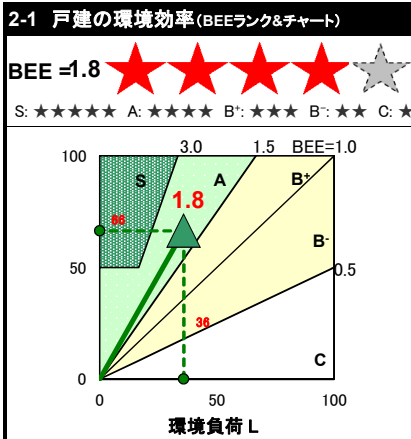
SDGs対応版



■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築) 2021年SDGs対応版

■使用評価ソフト: CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	一部確定
竣工年月	2022年11月	竣工		持ち込み家電等	一部確定
建設地	神奈川県横浜市泉区下飯田町			外構の仕様	一部確定
用途地域	第1種住居地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造	確定			
階数	2階	確定			
敷地面積	282 m <sup>2</sup>	確定			
建築面積	111 m <sup>2</sup>	確定	評価の実施日	2022年6月27日	
延床面積	189 m <sup>2</sup>	確定	作成者	佐藤 勝	
世帯人数	4	確定	確認日	2022年6月27日	
			確認者	佐藤 勝	



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
コロナ禍での在宅時間の増加に対応すべく、居心地の良い住環境・空間を目指した	特になし
<b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b> ・HEAT20 G2相当の外気性能を目指し、全館空調を採用することにより一年中、家の中の温度差を低くする ・建材はF☆☆☆☆を全面で使用し、ホルムアルデヒドの吸着・分解機能を備えたせっこうボードも使用することでシックハウス対策を万全とする	<b>Q2 長く使い続ける</b> ・外壁、屋根材は耐用年数の長いものを使用し、その間も定期メンテナンスを行う
<b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b> ・太陽光発電や節水効果の高い水栓などを利用することで家全体での省エネ効果を高めた	<b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b> ・「産業廃棄物広域認定制度」の認定を受けた建材を使用している
	<b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b> ・まちづくりガイドラインを元にタウンルール・地区計画を遵守し、周辺の町並みや景観と調和させる
	<b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b> 敷地内に緑地を確保している

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LR: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)  
 ■ CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE<sub>Q</sub>、Q<sub>1</sub>、LR<sub>1</sub>などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>1</sub>2、LR<sub>1</sub>1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)  
 ■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算」シートを参照されたい



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

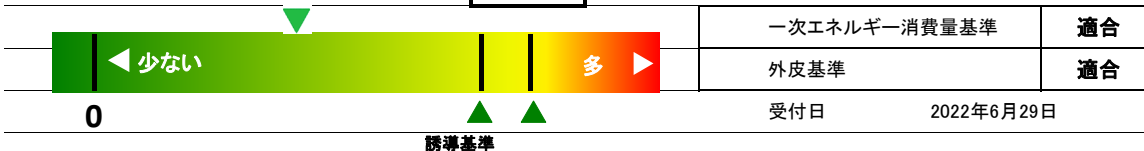
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

**5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **54** %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①HEAT20 G2相当の外皮性能を目指し、居心地の良い住環境・空間になるよう工夫した
- ②全館空調を採用することにより一年中、家の中での温度差を低くする
- ③外壁、屋根材は耐用年数の長いものを使用し、その間も定期メンテナンスを行う

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

**5**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤建材はF☆☆☆☆を全面で使用し、ホルムアルデヒドの吸着・分解機能を備えたせっこうボードも使用することでシックハウス対策を万全とする

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

**3**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

**3**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑩まちづくりガイドラインを元にタウンルール・地区計画を遵守し、周辺の町並みや景観と調和させる

#### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

#### エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

#### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

# CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 4-035



CASBEE横浜[戸建] (2022年版)

個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>3.6</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>4.1</b>
1 暑さ・寒さ		4.6	0.50	4.6
1.1 基本性能		4.8	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	4.0	0.20	-
4暑さ・寒さ				
1.2 夏の暑さを防ぐ		4.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.5	0.30	3.5
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	5.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	3.0	0.25	-
5健康と安全・安心				
7災害に備える				
3 明るさ		4.0	0.10	4.0
3.1 屋光の利用		4.0	1.00	-
4 静かさ		4.0	0.10	4.0
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	<b>3.2</b>
1 長寿命に対する基本性能		3.2	0.50	3.2
1.1 躯体	防災	3.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	3.0	0.30	-
8長寿命に対する基本性能				
1.5 火災に備える		4.3	0.20	-
1 火災に耐える構造		4.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		3.0	0.25	3.0
2.1 維持管理のしやすさ		3.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		3.0	0.35	-
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	<b>3.1</b>
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	5.0	0.30	5.0
10まちなみ・景観への配慮				
2 生物環境の創出		1.6	0.30	1.6
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	2.0	0.65	-
11生物環境の創出				
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
11生物環境の創出				
3 地域の安全・安心	防災	3.0	0.20	3.0
9地域の安全・安心				
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	<b>3.5</b>
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	<b>4.7</b>
1 総合的な省エネ		4.9	0.75	4.9
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1建物工夫				
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	4.0	0.10	-
2設備性能				
2 水の節約		4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		4.0	0.10	4.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
3維持管理と運用				
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
3維持管理と運用				
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	<b>2.8</b>
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.6	0.60	2.6
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		3.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		3.3	0.30	3.3
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		4.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	<b>3.0</b>
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		1.5	0.33	1.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		1.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		2.5	0.33	2.5
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		4.0	0.50	-